

# 会 議 録

## 1 会議名

平成28年度第4回中郷区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### （1）協議（公開）

地域活動支援事業について

### （2）その他（公開）

中郷区の概況について

視察研修について

## 3 開催日時

平成28年6月9日（木）午後6時30分から午後8時10分まで

## 4 開催場所

中郷区総合事務所 第4会議室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・ 委 員：荒川清尊、岡田雅範、岡田龍一、坂田浪平、高橋達也、竹内昭彦、  
竹内靖彦、古川由美子、松井伸枝、松原功、水嶋敏昭、陸川昇一

・ 事 務 局：山田弘中郷区総合事務所長、見波正美次長

総務・地域振興グループ 丸山良彦班長、樋口和輝主事

〔 以下、総務・地域振興グループは総務G、市民生活・福祉グループは  
市民G、教育・文化グループは教育G、グループ長はG長と表記 〕

## 8 発言の内容（要旨）

### 【丸山班長】

・ 会議の開会を宣言

【高橋会長】

- ・挨拶

【丸山班長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【高橋会長】

- ・会議録確認：「坂田浪平」委員と「竹内昭彦」委員に依頼。
- ・協議事項(1)の「地域活動支援事業について」事務局の説明を求める。

【丸山班長】

- ・資料に基づき説明

【高橋会長】

今ほど説明があったとおりである。これから採択事業等を決定するにあたって、委員の皆さんの質問・意見等を求める。

【竹内(靖)委員】

今回のポイントは、アロハ中郷における基本審査・採択方針の件と、中郷観光協会の100万円超えの件が争点になると思われる。この2件の取扱いをまず決定し、その後、残りの配分額について決めていけばよいのではないかと。

【高橋会長】

それでは、採択する事業を先に決定し、その後、各事業の補助額を決めることとする。今回、提案のあったいずれの事業においても、総得点は10点以上となっており、採択される点数に達しているが、アロハ中郷については1名の委員が基本審査・採択方針ともに否と審査している。この取扱いをどうすべきか、皆さんの意見をお聞きしたい。

【坂田委員】

アロハ中郷の基本審査・採択方針を否と審査したのは、私である。何故、否としたか理由を述べたい。中郷区には村時代からこのようなサークル活動を行っている団体がたくさんあり、過去において似たような団体が地域活動支援事業を申請したが、結果として不採択になった事例がある。また、活動そのものについてだが、提案の内容を見ると講師の謝礼が大半となっている。習い事に伴う謝礼というのは、いわゆる授業料であることから、当事業の基準に適合しないと判断した。これが、地域の住民が参加する催し物に積極的に活動するための経費、例えば交通費やお茶代などであれば

基準に適合していると思われる。

**【岡田(龍)委員】**

新たな団体が申請し、挑戦することは意義のあることであり、このような姿勢を尊重することは大切なことである。総得点も10点以上となっており、採択される点数に達していることから、認めてあげるべきだ。

**【水嶋委員】**

収支計画書をみると、会費が計上されていない。いわゆる、趣味の要素を持つ団体は会費を徴収するのが一般的であり、講師の謝礼などはその中から支出される。この点については、疑問を感じてしまう。

**【高橋会長】**

講師の謝礼については、今までに採択された他の事業においても発生していたものである。特に問題はないと思われるが、皆さん如何か。

**【竹内(靖)委員】**

趣味の活動やサークル活動の団体が、ここで食い止められてしまうと、当支援事業は主だった団体や組織力のある団体でないと、受けられない印象を持ってしまうことになり、個々の活動が薄れていくことが懸念される。中郷区における最近の提案団体は、主だった団体の申請がほとんどである。個々の団体に対しPRする意味も含め、今回採択したうえで、団体への指導も併せて行えばよいのではないだろうか。

**【岡田(雅)副会長】**

先ほど坂田委員より発言のあった、過去において似たような団体が地域活動支援事業を申請し、結果として不採択になった件についてだが、これは基本審査や採択方針で否定された訳ではない。今までは、補助申請額の合計が配分額をオーバーしていたことから、総得点が低かった団体について順位的にカットしたものである。

**【坂田委員】**

基本審査や採択方針の適否に対する取扱いを、次年度から採択基準にきちんと載せるべきだ。当事業における講師への謝礼は、内容としては個人的なレッスンのために払うものとなっている。このことを踏まえて採択するのであれば、募集要項にもその旨うたう必要があると思われる。なお、協議会全体の考えとして採択することにした場合は、新たな方向性が定められたことになることから、特に異存はない。

**【高橋会長】**

意見も出尽くしたようなので、これよりアロハ中郷の提案事業について採決を取りたい。採択してよいと思う委員の挙手を求める。

－ 全委員挙手 －

**【高橋会長】**

それでは、アロハ中郷の提案事業については採択することに決定する。なお、これ以外の事業については、いずれも総得点が 20 点以上であり、特に問題が無いと思われることから全て採択することで決定してよいか。

－ 全委員賛同 －

**【高橋会長】**

皆さんから賛同いただいたので、今回提案のあった全ての事業について採択することに決定する。なお、採択基準の見直しについては、次年度に向けた協議の場を今後改めて設け、検討することにしたい。続いて、各事業の補助額を順次決定していくことにするが、その前に事務局より報告事項があるようなので、説明願いたい。

**【樋口主事】**

中郷商工会青年部における補助申請額について、訂正をさせていただきたい。対象外経費が支出に含まれていたため、該当する金額 5 千円を差引き 99 万 5 千円の補助申請額に訂正をお願いしたい。なお、同団体へはその旨説明し、承諾を得ている。

**【高橋会長】**

今ほど報告のあったとおり、中郷商工会青年部については 99 万 5 千円の補助申請額に訂正するとのことである。了承いただきたい。それでは、各事業の補助額に移るが、まず、中郷観光協会の 130 万円について協議を行いたい。皆さんの意見等を求める。

**【陸川委員】**

130 万円は要項で定められている「おおむね 100 万円」の範囲には含まれないと思われる。また、過去においても 100 万円を超えた事業は無かった気がする。このため、30 万円を減額し、100 万円にすべきではないだろうか。

**【坂田委員】**

「おおむね 100 万円」と定めた経緯について、確認しておく必要がある。そもそも、これは区内の団体から、なるべく多くの提案をしてもらいたいという思いから、一つの上限として定めたものである。ただし、今回は補助申請額の合計額が配分額に満た

ない状況となっていることを考えると、申請通り 130 万円でもよいのではないかと思われる。

**【岡田(龍)委員】**

次年度に向けた見直しでは「おおむね 100 万円」を「上限 100 万円」に改めた方がよい。そうすれば、このような問題は起きないことになる。

**【荒川委員】**

個人的には 130 万円でよいと思う。新聞やテレビ等で度々報道されているが、二本木駅の活性化に向け一生懸命取り組んでいることが伝わってくる。中郷区には何があるかと聞かれた場合、真っ先に思い浮かぶのは「二本木駅のスイッチバック」である。このようなことから、額は大きいですが申請通り 130 万円付けてあげたいと思っている。

**【坂田委員】**

この事業は非常に大変なものであると感じている。何故ならば、提案団体側のみならず、中郷区の住民全体が行う内容になっているからである。このことを踏まえると、やはり私は 130 万円でよいと思う。

**【高橋会長】**

それでは、130 万円と 100 万円で採決を取ることにする。130 万円でよいと思う委員の挙手を求める。

－ 7 名が挙手（委員の過半数） －

**【高橋会長】**

委員の過半数の賛同があったことから、補助金額は 130 万円に決定する。なお、「おおむね 100 万円」の見直しについては、次年度に向けた協議の場を今後改めて設け、検討することにしたい。全体を通して特に問題点等がなければ、他の事業については申請どおりの額としてよいか。

－ 全委員賛同 －

**【高橋会長】**

それでは、他の事業については申請どおりの額に決定する。これにより、配分額に対し残額が 21 万 9 千円となったが、追加募集を行うことにしてよいか。

－ 全委員賛同 －

**【高橋会長】**

皆さんから賛同いただいたので、残額に対して追加募集を行うことにする。これに

伴う今後のスケジュールについて、事務局の説明を求める。

**【樋口主事】**

・募集開始～採択事業決定までのスケジュール案を説明

**【高橋会長】**

今ほどの説明に対し、質問・意見等を求める。

**【高橋会長】**

住民への周知はどのように考えているか。

**【樋口主事】**

今月の中旬より、防災行政無線を通じ事前周知を行う予定である。また、総合事務所日より7月1日号に記事を掲載するとともに、募集チラシを別途作成のうえ配布したいと考えている。

**【竹内(靖)委員】**

地域協議会として、やるべきことが山積している。地域活動支援事業ばかりに時間をかけていられないため、なるべく簡素化し他の案件も同時進行していくことが必要ではないか。

**【山田所長】**

このスケジュールでいくと、採択事業を決定するのに8月までかかることになるが、この間においても様々な案件が出てくると思われる。また、追加募集を行うといっても、補助額が約20万円であることから、それほど件数は多くないと見込んでいる。したがって、他の案件についても平行して進めていく考えである。

**【高橋会長】**

スケジュールについて、事務局の案のとおり進めることでよろしいか。

－ 全委員賛同 －

**【高橋会長】**

それでは、そのように進めることとする。なお、1点確認をさせていただきたい。当初募集で、既に提案のあった団体について、追加募集でも引き続き提案を可とするか否か、はっきりさせておきたい。皆さんの意見を求める。

**【岡田(龍)委員】**

追加募集であることから、まだ提案されていない団体を対象にした方がよいと思われる。

**【高橋会長】**

皆さん、それで決定してよろしいか。

－ 全委員賛同 －

**【高橋会長】**

それでは、当初募集で、既に提案のあった団体については、追加募集での提案を認めないこととする。事務局には、募集に際し注意するよう周知をお願いしたい。

**【水嶋委員】**

新任のため、素朴な質問をさせていただく。採択を受けた事業については、会計報告あるいは会計監査などはあるのか。

**【樋口主事】**

事業が終了した後、収支決算書をはじめ、領収書の写しや写真などを添えて実績報告書を提出いただくことになる。なお、市が提案団体に対し、会計監査をすることはない。

**【古川委員】**

私も新任のため、素朴な質問をさせていただく。採択を受けた事業で、予算を使い切れなかったことはあるのか。

**【樋口主事】**

事業の内容が一部変更になった例はあるが、予算を使い切れなかったことはないと認識している。

**【見波次長】**

補足だが、事業を実施していく中で、内容や金額が大幅に変更となる場合は、あらかじめ総合事務所に連絡・相談していただくことになる。なお、事業費では3割以上の増減がある場合には、変更申請書を提出する必要がある。

**【高橋会長】**

皆さん、他に何か質問、意見等はあるか。

－全委員なし－

**【高橋会長】**

特になければ、協議事項（1）の「地域活動支援事業について」は、これで閉じることとする。

**【高橋会長】**

続いて、その他（１）の「中郷区の概況について」事務局の説明を求める。

**【山田所長】**

資料に基づき説明

**【高橋会長】**

今ほど、説明があったとおりである。現在抱えている中郷区の課題についてまとめていただいたが、中でも新井頸南広域行政組合解散の件については、次回の地域協議会において２回目の報告があるとのことである。そこで、事務局にお願いしたい。昨年、同様の件で１回目の報告を受けているが、その時に出た質問、意見等をまとめ、参考資料として事前に委員へ配布いただきたい。なお、本日の説明で不明な点等があった場合は、後日改めて聞くことにしたいと考えている。

**【高橋会長】**

それでは、その他（１）の「中郷区の概況について」は、これで閉じることとする。

**【高橋会長】**

続いて、その他（２）の「視察研修について」事務局の説明を求める。

**【樋口主事】**

資料に基づき説明

**【高橋会長】**

今ほど、説明があったとおりであり、今年度の実施時期や視察のテーマなどについて次回までに考えていただきたいとのことである。この件について、何か質問、意見等はあるか。

ー全委員なしー

**【高橋会長】**

特になければ、その他（２）の「視察研修について」は、これで閉じることとする。

**【高橋会長】**

その他、委員の発言を求める。

**【竹内(靖)委員】**

２点ほどお願いしたい。先日、南部まちづくり協議会から中郷区まちづくり振興会に相談があった。同協議会では、例年独自で交通安全教室を開催しているとのことである。昨年度までは、総合事務所で物品借用の手続きを行ってくれていたが、今回同



様の依頼をしたところ断られ、まちづくり振興会に物品借用するよう提案したとのことである。同協議会の担当者は大変困惑していたそうだ。何故、断ったのか理由について説明いただきたい。もう1点は、各種団体に対する補助金の減額についてである。今年度における体育祭の予算申請をしたところ、既に減額が決定されていた。減額については、我々はあくまで意見交換の段階という認識であった。ところが、既に減額が決定されたということで、非常に戸惑っている。もし、既に数年先まで減額が決定しているのであれば、早めに各団体に対し情報提供すべきだ。いきなり減額が決定されても、困惑することになる。

**【見波次長】**

1点目の南部まちづくり協議会の件についてだが、地域の皆さんが混乱するような対応をとってしまい、大変申し訳なくお詫びしたい。交通安全の推進事業は、市としても大きな課題の一つとして捉え、取り組んでいるところである。同協議会の交通安全教室については、自主的に開催している事業であるため、本来的には開催する団体から手続きを行っていただく必要があるかと思うが、一方で地域の皆さんが活動することに対して、市が協力することも大切なことであると考えている。物品借用については、拡声器を例にとれば、昨年まちづくり振興会で地域活動支援事業を活用し、新たに拡声器を購入したことから、同振興会への借用を提案した次第である。伝え方が適切でなかったため、誤解を招いたようなことになってしまい、反省している。今後出来る範囲で協力していく考えは、これからも変わらないところであるため、ご理解をいただきたい。

**【山田所長】**

2点目の補助金の減額については、確認の上追って連絡させていただく。

**【岡田(龍)委員】**

1点お願いしたい。最近、ひばり荘の営業開始時間が遅くなったとの声を住民から聞いた。ひばり荘は、勝馬基金を充当し改築した経緯があることから、住民に対し何らかの説明が必要と思われる。今後、ひばり荘との意見交換の機会を設けていただきたい。

**【山田所長】**

今までは、開館時間が10時であったが、最近になって11時に変更になったことは承知している。ひばり荘との意見交換会は昨年度も行っているが、この件を含め今年

度も引き続き、意見交換会の場を設ける考えである。

【高橋会長】

他に発言がないため、これをもって、本日の会議を終了する。

次回の会議は、7月22日(金) 午後6時00分から、「中郷区総合事務所」で行うこととする。

(終了 午後8時10分)

9 問合せ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0 2 5 5 - 7 4 - 2 4 1 1

E-mail : nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。